

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～




笑顔いっぱい

～スイカで昼涼み～
(紹介は10ページ)

2017.9
No.
525

地域の活性化を学ぶ

JA役員
道外視察研修

JAとくろ（川上和則組合長）は7月9日から13日までの5日間、当JA役員9人が参加して九州方面の役員視察研修を行いましたので、主な視察内容を報告致します。

■はじめに今秋実施の「夢さがし塾」の研修予定先のうち2ヶ所について報告致します。

トマトで産業創出

～長崎県長崎市 たかしま農園～

高島は平成17年に市町村合併により長崎市の一部となり、ピーク時には世界遺産となった端島（軍艦島）と合わせて1万5千人の人口を数えましたが、昭和61年の高島炭鉱閉山により現在は350人ほどと大幅な減少となっています。

炭鉱閉山で人口流失が続く中、新たな産業創出として第3セクターによりトマト農場が開始されました。その後 海運



●ブランド化されたトマトの話を聞くJA役員

当初は引き継いだ1haのハウスでスタートしたものの採算が取れずにいましたが、美味しいトマトを作り離島の産業を守りたいとの想いで事業を継続し現在に至っています。

その後、徐々に業績を上げ平成26年にブランド化への取り組みをスタートし、品質はもとより商品パッケージやロゴマークにもこだわり全国に販売しています。ブランド化を開始した平成26年には4千6百万円、本年は1・4haに増反し、6千4百万円を売り上げました。歩留りは加工を含め95%と廃棄はほとんどない状況で、離島のためか病虫害は少なく、外部からの技術指導はほとんど受けず独学で対応しているとのことでした。出荷時期は2月中旬から5月までの4ヶ月間だけで県内はもとより全国のデパートや有名レストランで採用されており、インターネットでの直売も行っていました。

組合員が主人公の農協運営

～大分県中津市 下郷農業協同組合～

昭和23年に農地解放による小作人により設立された農協で、旧地主を主体とした農協とともに、同じ地域に2つの農協が存在することとなりました。平成20年に県内16JAが合併し「JAおおいた」となった際も、過去からの経緯もあり下郷農協は合併に参加せず単独での運営を選択しました。地域でJAと言えば合併したJA、農協と言えば下郷農協と認識されていることからあえてJAと名乗らないでいます。

組合員の農協に対する思い入れが非常に強く、単独で存続することを選

択したことで50%の減資を行うことにも十分に理解が示されました。

「組合員が主人公」の農協運営を進め、農産物は有機栽培、有機農法で、畜産は自給飼料による環境保全型を基本



●下郷農協の歴史を学んだJA役員一同

に「安全・安心」な農畜産物をしっかりと消費者に購入してもらおう産直事業を経営の柱としています。当初は乳牛を導入し生乳販売から始め、その後山菜や野菜、お茶などの品目に拡大しており、今も牛乳加工部門は事業の中心となっています。

生産物は農協買取を基本に、販売は農協の責任として事業を進めています。現状単年度では黒字決算となっていますが、過去の厳しい経営状況から累積赤字となっており繰越欠損金の早期解消が課題となっています。

平成27年には全国で初めてJA県信連に信用事業（貯金）を譲渡しています（農業融資、共済事業は存続）。

地域を守り発展させることは農協の発展にもつながるとの思いから、地域ぐるみの活動に取り組んでおり、診療所やデイケア施設の運営も行っています。更には移住者対策として空農家の住宅を定住促進として提供し、東日本大震災から増加している移住者により地域の活性化にもつながっています。

移住者は新規就農ではなくこの地域で暮りながら、別のジャンルで起業している場合が多く、そこを目標に県外からの来客も増えています。下郷農協では早くから女性の声を経営に反映させるため、

女性理事の登用も行っており、現在2名（女性部1名、生産者1名）の女性が理事となっています。経営形態は違うものの単協として目指している先駆者的な取り組みが強く印象に残りました。

■次に主要取引先であるカルビー株式会社鹿児島工場と丸果大分大同青果株式会社への表敬訪問内容についてご報告致します。

人気商品76アイテムを 1日当り45万袋製造

～鹿児島県鹿児島市
カルビー株式会社鹿児島工場～

全国11ヶ所に展開する自社工場のひとつで昭和50年から操業し、九州、沖縄方面を主な出荷エリアとしています。

現在の従業員数は180人の2交代勤務（一部3交代24時間勤務）でポテトチップス45アイテム、真空パック31アイテムを1日当り45万袋製造しております（自社内シェア5・8％）。

訪問時は輸入原料を使用している生産行っており、その概要について説明を受けました。輸入馬鈴薯使用には厳しい条件が付されており、検査

による合格品のみが使用できます。貯蔵品と3月に収穫されたフレッシュ品を使用していますが、フレッシュ品の方がコストは高いものの歩留りが良く、今後の使用において増加を検討しているとのこと。今シーズンは貯蔵品、フレッシュ品合わせて4万トンの実績となりました。

今後の取引については、取引量が減少しない様にカルビーポテトとともに相互理解のもと連携を強化していくことが必要であるとの確認をしました。



●倉庫に貯蔵された馬鈴薯を確認

前年以上の販売を目指して

～大分県大分市
丸果大分大同青果株式会社～

昭和51年大分市公設地方卸売市場内に設立され、平成28年度取扱高は152億円、従業員数58人で平成28年産常呂町玉葱取扱は48,000ケース（共計正品）市場シェア7・2％の実績となっています。

いくこととし、府県産地の動向もあるものの、前年以上の販売内容となるよう要請しました。

昨年の災害で流通量確保を心配しましたが、結果的には従来以上の実績となりました。本年においても産地として高品質玉葱の生産に努力して

域を守り活性化する取り組みを主に研修しましたが、「夢さがし塾」での視察先としてふさわしい場所であることを確認する事ができたと共に今後の地域振興などの検討資料とさせていただきますと思います。

心身共にリフレッシュ!

フレッシュミセス部会
(土本多恵部会長) は6月
21日、部会員23人が参加
し、旭川方面へ夏季視察
研修を行いましたので、研
修要点を報告致します。

まず始めに、旭川市永山2
条にある男山酒造り資料館を
訪れました。同資料館では、
浮世絵と共に酒造りを学べる
資料室や昔使用されていた道
具の展示などがあり、蔵元の
紹介や酒造りについて映像で
学ぶことが出来ます。
また、酒蔵もガラス越しに



● 上野ファーム看板前に整列する部会員一同

見学でき、同資料館限定酒な
どの試飲も出来ました。

次に訪れたのは、永山町に
ある上野ファーム。ここは、
英国の庭造りを元に、北海道
らしさを大切にしたりガーデン
で、寒暖差のある北国ならで
はの鮮やかな花色や開花期
の違いが楽しめます。同ファ
ーム内は、テーマ別に10個の
ゾーンに分かれており、その
内の一つ「ノームの庭」は、
美しい木々と素朴な美しさを
もつ野草やグラスが華やかな
花と混じり合い自然な風合い
で見る人の心を和ませてくれ
ます。他にもカフェやガーデ
ニンググッズを扱うショップ
もありました。

全日程を通し部会員からは
「昔から知っている男山を更に
知ることが出来た」「上野ファ
ームがあまりにも綺麗で来て
良かった。自分の庭造りにも
力を入れたい」と話しました。
今回の夏季視察研修は、天
候に大変恵まれ、部会員間の
交流を一層深めた中、全ての日
程を終えることが出来ました。

地域の特性を活かした農法

JAとくろ女性部(岡田真理子部長) は7月10日、11
日の2日間、部員23人が参加して夏季視察研修を十勝・帯
広方面で行いましたので、研修要点を報告致します。

1日目の視察先は、足寄町
で温泉熱を利用し毎の栽培を
行っている「合同会社 足寄
ぬくもり農園」です。

同農園は、昨年6月にJA
あしよろが四季なり毎のスウ
ィーティー・アマンの試験栽
培を行ってきたハウス一式を
引き継ぐ形で設立されまし
た。夏は地下水を巡回させイ
チゴ培地を冷却、冬は温泉熱
を利用しハウス内と培地の暖
をとって栽培すると共に、減
農薬に徹した天敵農法を実施
していました。主に直売所や
Aコープなどで販売していま
すが、糖度が高く中まで赤い
ため、お菓子用に最適という
ことで、札幌市内や帯広市内、
本別町内のケーキ屋さんなど
へも販売していました。

2日目は、帯広市稲田町に
ある日本甜菜製糖株式会社の
「ビート資料館」へ視察を行
いました。

同資料館は、日本甜菜製糖
株式会社の設立70周年を記念
し、平成元年10月にオープン
しました。

1階は、創業時の旧帯広製
糖所を米国ダイヤー社の原図
面から復元した、縮尺70分の
1の模型とゆかりの品々を展
示し、2階には、古い農機具
の実物、ドイツBMA社から
寄贈された連続浸出塔の
第一号機、官営の紋龍製
糖所に設置されていた結
晶缶の模型などが展示さ
れると共に、栽培および
砂糖製造工程のビデオを
上映していました。

自分たちの育てている
作物の知らない部分を知
る、いい機会となり、部員
たちは館内を案内してく
れた中川さんの話を熱心
に聞いていました。
次に訪れたのは、音更
町にある「よつ葉乳業株

式会社十勝主管工場」です。

同工場では、牛乳・バター・
ナチュラルチーズなどの製造
を行っており、当日はガラス
越しに牛乳の製造工程を見学
することが出来ました。また、
昨年度に導入されたキャップ
式牛乳の製造工程も見せて頂
きました。他にも、よつ葉乳
業の歴史や乳製品が消費者に
届くまでの過程、工場内の衛
生管理などを映像やパネル展
示で学ぶことが出来ました。
この2日間を通して女性部
の絆をより一層深め、新たな
知識も得ることの出来た夏季
視察研修となりました。



● 牛乳の製造工程を見学した会員一同

農業実習生

―常呂町農業担い手受入協議会―

常呂町農業担い手受入協議会（林健志会長）は、7月24日～8月12日の日程で農業実習生を受入れました。

長崎県立諫早農業高等学校からは1人が7月24日～8月12日の20日間実習体験を行いました。また、拓殖大学北海道短期大学からは3人が7月29日～8月12日の15日間、実

習を通じて常呂町の農業を体験しました。

実習生は普段の生活では得られない貴重な体験ができ、今後の学校生活においてとても意義のある実習になったのではないだろうか。各実習生の実習を終えての感想を紹介いたします。

富永ひなたさん

長崎県立諫早農業高等学校2年
受入：梅田俊則牧場

20日間のインターンシップは長いようで短く、あっという間でしたが、沢山の経験ができて本当に良かったと実感しています。

今回の研修で学んだことを将来にも役立てて、一生懸命頑張りたいと思います。



香川 翔太さん

拓殖大学北海道短期大学2年
受入：安藤貴彦農場

小さな仕事でもコツコツと積み上げれば結果がついてくることを知りました。また、大型機械での収穫及び耕起作業を経験できたことは、大変有意義な研修となりました。



岩坪 優花さん

拓殖大学北海道短期大学2年
受入：馬淵修農場

農業初心者で慣れない作業や分からない事ばかりでしたが、1度も辛いと思うことなく、全てが新鮮な事に感じ、毎日の作業がとても楽しく感じる研修でした。



森 崇晃さん

拓殖大学北海道短期大学2年
受入：株羽石農場

常呂で学んだ2週間は自分にとって大切な経験となり、人生の大切な財産となりました。何か一つでも吸収して出来る事を見つけ、今後の農業人生に役立てていきたいと思っています。



夏休みは楽しく酪農体験



ネイパル北見が主催する「わくわくハローワーク」が7月27日～29日の2泊3日で行われ、近隣市町村の小学生20人が参加しました。

このイベントは、子供たちに様々な職場体験を通し、学ぶことや働くことへの理解を深めてもらうことを目的として行われています。

1日目となる27日は、指導農業士である那須美由紀さん宅の牧場で酪農体験が行われました。当日の早朝から牛の乳搾り体験を行ったり、生乳を使用した生キヤラメル作り、牛のエサやりや仔牛へのミルクやりも体験しました。また、農協牧場へも足を運

び、自由気ままにあるく牛たちを見て子どもたちから歓声があがりました。

参加した子どもたちは「牛がすごく可愛い」「子牛の吸う力が強くてびっくりした」などの感想を話してくれました。2日目、3日目は管内で漁業や食品についての職場体験を行ったそうです。



上：仔牛の触り方を教える那須さん(右)と教わる子ども(左)
下：2人ずつ協力してミルクをあげました

家畜への鎮魂と

感謝の意を込め供養

～相馬神社祭・獣魂祭～

JAところ（川上和則組合長）は7月24日、共立のJA川東牧場にある獣魂碑前で相馬神社並びに獣魂祭を執り行いました。当日はJA役員、各関係機関、畜産農家など22人が出席しました。

今日までの営農や食文化のために命を捧げてくれた家畜に対し、鎮魂と感謝の意を込め、出席者一人ひとりの家畜の霊を慰めました。



鎮魂と感謝の意を込める出席者一同

経営移譲懇話会行っ

JAところは、経営移譲懇話会を7月19日に松寿で行い、5組の夫婦が出席しました。

この懇話会は、平成28年度中にご子息に経営移譲された方が対象で、これまで長きに亘り農業経営に努力され、更には常呂町農業の振興と当JAの事業運営にご尽力されたことに対し、感謝を申し上げることを目的として開いています。

当日は、昔の農業や農協について、国民年金や農業者年金などの話題で大いに盛り上がり、経営移譲者間の親睦も図られました。最後に川上組合長より今後当JAに対し変わらぬ支援と協力をお願いしました。



経営移譲懇話会に参加した皆さん

収穫風景Photos!!

にんにく



富丘地区
森澤修一さん圃場

玉葱



日吉地区
鈴木 淳さん圃場

春小麦



東浜地区
白石建蔵さん圃場

秋小麦



土佐地区
小原啓人さん圃場

No.2

GAPってなに？

◎第2回は、GAPにおける「食品安全」についてご紹介します。

《食品安全意識の高まり》

近年、異物混入を始めとする食品事故の発生が相次ぎ、消費者の「食の安全・安心」への意識が一層高まっています。

食中毒の発生や、残留農薬事故など様々な食品事故を未然防止するための取組が必要です。

常呂町内で発生している食品事故とGAPの取組による対策について考えてみましょう。

《異物混入防止》

農産物は食べ物ですので衛



● 洗浄済みの清潔な鉄コンで出荷しています

生的な取扱いをすることが必要です。

圃場周辺の堆肥が集荷物や鉄コンに付着しないように堆肥場所や作業導線に注意する必要があります。

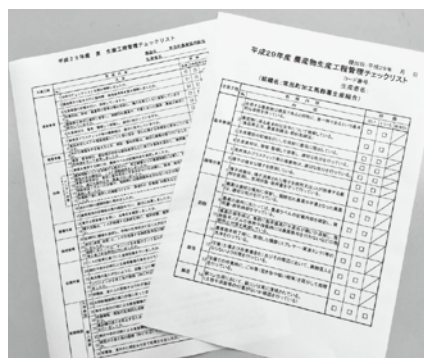
また、出荷において鉄コンは常に清掃し（写真左上参照）、土砂や貝殻の付着がないか確認を行うことになっています。

《ドリフト防止対策》

農薬のドリフトは残留農薬事故の要因となっています。

特に収穫前の作物が近接圃場となっている場合は注意が必要です。周辺圃場の作物や生育時期を把握することがポイントとなります。

出荷品目ごとに「生産工程管理チェックリスト」で自ら農場を確認することにより、より良い農場管理をするためのポイントを把握することができ、事故の未然防止につながります。



● 自己点検はGAPの第一歩です

がります（写真右参照）。

食品事故が発生すると、これまで築いてきた産地全体の評価も落としてしまいます。

町内では飛散防止ノズルの使用や強風時には農薬散布を行わないなどの飛散防止対策を実施し、日頃から食品安全と事故防止に努める取組を行っています。

食品安全は消費者が求めるGAPの最も重要な目的です。営農の中で、少しずつ問題意識を持ち徐々に改善をしていくことが大切となっています。

次回は「環境保全」についてご紹介します。

今更けJA!

その意義と役割

Vol. 8

JAは組合員が委託した農産物をどのように販売しているのでしょうか？今回は協同組合最大の特微ともいえる「一元集荷多元販売」について生乳を例にとりてみてみることにしましょう。

生乳には、飲用乳向けや「生クリーム・バター・脱脂粉乳・チーズ」といった乳製品向けなどさまざまな用途があり、販売価格については各用途で異なり、それぞれの市場情勢を踏まえた価格設定となっています。

中でも飲用向けが最も高い価格となっていますが、酪農家がこぞって飲用向けのみに出荷した場合は、市場に対して供給過多となり価格低下を招くことになります。

また、価格が低いといった理由で、乳製品向けの販売を抑え過ぎると、輸入品が増加し、国産生乳の需要を喪失することにもつながります。

このため、国の制度として「指定生乳生産者団体」が設置され、北海道ではホクレンが指定を受けており、一元集荷多元販売による「生乳の用途別取引と需給調整」および「公平な乳代分配」を行っています。

具体的には、指定団体であるホクレンが全道の酪農生産者から集荷した生乳を一元管理し、JA等の生産者団体を代表して乳価交渉を行い、全ての乳業者と全ての用

途においてバランスを考えながら販売しています。また、代金については集荷した生乳の成分量で割り返した単価により乳代を支払っています。

このことにより、北海道内の何処で営農しても、平等な乳代精算が行われることになります。これが「プール乳価」と呼ばれるものです。

こうした組織の結集力によって農産物の有利販売と需給の均衡を同時に実現するのが「一元集荷多元販売」の仕組みですが、実はこの方式は協同組合にしか実施が認められておらず、株式会社では独占禁止法により実施が制限されています。もし、全農・ホクレンの株式会社化や指定生乳生産者団体制度の廃止が現実になったとしたら生産者への影響は多大なものになるでしょう。



悲慘な農作業事故を

防止しましょう!

「絶対起こさない」
〜うちは大丈夫という
過信は禁物〜



一年間を通して『農作物の蒔き付け・畑の管理・収穫作業などの最盛期』に「農作業事故」が多発する傾向となっております。繁忙期の際には、ちょっとした油断が大怪我に繋がることもありますので、家族みんなで声かけをして未然に事故を防止しましょう。

**特に機械を動かす時には、
必ず一声かけましょう!**

【機械の作動・点検時】

▼回転部分の異物を取り除く時には、機械に手を巻き込む可能性がありますので、必ずエンジンを止めましょう!

JAやJA関連団体へ100%就職 (平成28年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎

第2回 学生募集 **JAカレッジ**

- 60名 ●1カ年、全寮制
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 満24歳未満(平成29年4月1日現在)
- 試験日:12月12日・13日
- 願書受付:9月11日~11月20日消印有効
- 学校見学もできます

男女共学 JA、JA関連団体へ就職

お問い合わせ・資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 JAカレッジ 検索

8月号で記載した内容に誤りがありましたので訂正致します。

裏表紙 農業を担う青年たち 林 俊文さん地区名

誤: 東浜地区→正: 岐阜地区

〈訂正とお詫び〉

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。今後も引き続き「光と風の大地」をよろしくお願い致します。

8月7日に立秋を迎え、朝晩も涼しくなり本年はいつもより速く秋の雰囲気近づいてきております。北海道の紅葉は大雪の山々が日本で最も早く8月下旬から始まります。その景色を一目見たいと山登りを始めました。

入組してからの体力づくりと気分転換も兼ねて単独で始め、仁頃山や藻琴山など幅広い年齢層に親しまれている場所を基本とし結婚後は妻と共に山を巡ることもありました。それから三年ほど経過した頃、同じ趣味を持つ職場の先輩と斜里岳、羅臼岳の景色を臨むことができるようになりました。登山道は頂上での絶景を眺めながらの食事、下山後の疲れを癒す地元の温泉も格別です。

昨年からは娘が新たに登山メンバーとして加わり、登頂する喜びを共有する仲間が増えたうれしさの反面、悲慘な事故が絶えない現状もありますので、改めて「安全な登山」を続けていきたいと思っています。



平成20年に奥さんと一緒に登った黒岳での一枚

ちょっと発信

JAマニャー

発信No.44

「登りは体力、下りは技術」

生産部 資材課 空 崇弘

JA職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

第6回理事会報告

1. 職制規程の改正について

原案通り一部改正することで承認されました。

2. 固定資産の取得について（計画外）

次の固定資産を取得することで承認されました。

○宅地 北見市常呂町字日吉596番地1他
3筆17,706.08㎡

3. 平成29年度産共計小麦の仮渡金について

○きたほなみ 1,234円/60kg

○ゆめちから 1,019円/60kg

○春よ恋 1,307円/60kg

で仮渡することで承認されました。

4. 平成29年度産共計玉葱の仮渡金について

50,000円/10aで仮渡することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 第1四半期監査報告について

2. 内部監査報告について

3. 平成29年度農作物実測面積について

4. 平成29年度コムギなまぐさ黒穂病調査の結果について

5. 組合員交流会開催報告について

6. 平成28年度産共計玉葱の本精算について

7. 平成29年度肥料年度早取り肥料取りまとめ実績について

8. 道農協労連からの義援金の寄贈について

9. 平成29年度農業労災加入状況について

10. 組合員の加入・脱退について

11. 農業委員会報告について

行事予定表

9月1日(金)～9月30日(土)

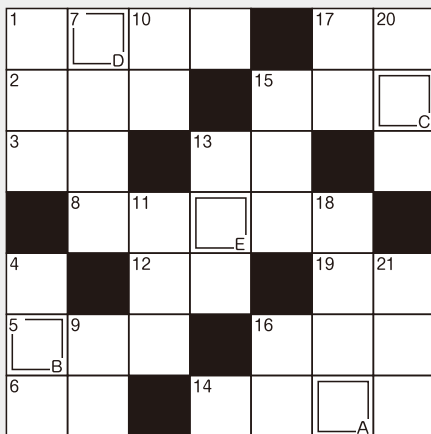
9月12日(火) 秋季祭典

9月18日(月) 敬老の日

9月22日(金) 第8回定例理事会

9月23日(土) 秋分の日

9月24日(日) 農休日



先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、
「2、3、5、8、11」でした。
抽選の結果、次の方々が当選しました。
おめでとうございます。
片山 心菜さん(共立)
佐藤 虹心さん(豊川)
※()内は地区名です。

Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう？

タテのカギ

- ①くるくるとカールした髪
- ④ふすまや障子はこの上を動きます
- ⑦電車の中にぶら下げられています
- ⑨くらを置いて乗ります
- ⑩自分の娘の夫のこと
- ⑪○○○に無勢だ、勝てないなあ
- ⑬せき止めに良いといわれるバラ科の果物
- ⑮車を止めて○○○ブレーキを引いた
- ⑯スズシロはダイコン、スズナは
- ⑰黄色い貴金属。元素記号はAu
- ⑱競技などを途中で棄権すること
- ㉑眠るときに着る物
- ㉒猫に○○○＝豚に真珠

ヨコのカギ

- ①唱歌『虫のこえ』で最初に出てくる虫
- ②江戸○○○はガラスをカットして作られる工芸品です
- ③よく内科と対比されます
- ⑤マタタビ科の果物。鳥の名をちなんで名付けられました
- ⑥リビングともいいます
- ⑧季節によって住む場所を変える鳥
- ⑫箸を数えるときに使う言葉
- ⑬舟をこぐ道具
- ⑭こしあんと○○○○、どちらが好き？
- ⑮秋においしい魚の代表格
- ⑯牛などに食べさせる牧草のこと
- ⑰臼と一緒に働きます
- ⑱吸盤がたくさんある海の生き物

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌への
ご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、AG呂の商品券をプレゼントします。

読者の声

★いつもこのまちがい探しを楽しみにしています。
四角にあてはまると達成感を感じます。
(共立地区・片山 心菜さん)

★まちがい探しをいつも頑張っています！
(豊川地区・佐藤 虹心さん)

農業を担う青年たち

最終回

※昨年度の新規就農者の皆さんを先月号に引き続き紹介致します！

○就農について（きっかけ・今後の抱負）

小さい頃から農作業を手伝っていて自分も農家になりたいと思いました。早く仕事を覚えて一人前になれる様に頑張りたいです。

○就農から1年経ち振り返って

去年の水害で収穫作業ができなく、悔しい思いをしました。また、普段経験することができないことを経験し色々と学んだ年でした。

○1日（仕事）が終わってからの楽しみは？

仕事終わりのビール！

○休みの日にやっている事・したい事は？

友だちと遊ぶことや買い物に行くこと。

○趣味・特技はありますか？

野球、スノーボード

○理想の女性像は？

家庭的で一緒にいて楽しい人。

○経営者からの一言！

期待の星なので、ますます頑張ってもらいたい。



日吉地区

沼崎

はるき

栄樹さん

〈就農先:有ひかり〉(23歳)



JAとこぼKIDSわくわくクッキング

初めて包丁調理。

「牛乳3色かんの3品を調理。」

「おにぎり」

「たまご」

らを講師に招き「たまご」

佐・岡史洋氏

に、平成25年から開催して

いて、今年は、(株)グリーン

ズ北見の丸山勇太課長補

食の大切さを子供たちに伝

え知ってもらうことを目的

に、今年度は、農業と

この料理教室は、農業と

11人が参加しました。

の小学校3～6年生の児童

を「ファーマーズハウス」

える」で開き、組合員家族

象にした「JAとこぼKIDS

DSわくわくクッキング」

が下級生に教える場面もあ

り終始和気あいあいとした

雰囲気でした。

調理終了後、「いただきま

す」と子供たちの掛け声で

自分たちが作った料理を食

べ、「同じ班の人と協力して



上:みんなで力を合わせて作りました
下:作った料理を披露する子どもたち

編集後記

●お世話になっている方の舞台公演に初めて行ってきました。樺太真岡郡真岡町の真岡郵便局で自決した9人の電話交換手の実話に基づいた内容で、戦争の怖さや9人の勇気ある行動に大変感動しました。この舞台公演は、乙女たちの自決した8月20日に稚内で行われた平和祈念祭での公演を最後に幕を閉じました。久しぶりの舞台もいいものですね。(反響が大きかったため、10月に札幌市で凱旋公演を予定しています)
●日中と朝晩の寒暖差が大きくなり、秋にだんだんと近づいてきましたね。広報を作成していると1ヶ月が本当に早く感じます。残すところ4ヶ月。豊作をご祈念するとともに読みやすい誌面作りを強化して参ります。
《営農企画課：広報担当》

笑顔いっぱい

スイカで昼涼み

今月号は土佐地区の小原拓真くん(11)とおばあちゃんの靖子さん(67)です。

夏休みの最後、暑い日にスイカで涼んでいるところを撮影させて頂きました。

陸上部に所属する拓真くんは、なんと7月に開催された全道大会のジャバリックボールで6位入賞のアスリート。

そんな拓真くんは靖子さんは「素直でめんこい子なのでそのまま育てほしい」と、にこにこ話していました。